

平成31年度社会福祉法人天寿会事業計画

1. 平成31年度社会福祉法人天寿会事業運営方針（骨子）

本年度、天寿会は法人設立50周年を迎えることとなりました。これまでの天寿会の歩みを振り返るだけでなく、これからの50年を見据えた事業への取り組みが必要となってきます。そのためにはまず、天寿会が社会福祉法人としての使命・役割を再確認、再認識し、それが果たされるべき事業運営が必要と考えます。従来の事業を漠然と継続するのではなく、地域社会にとって天寿会があって良かったと利用者様にも、地域社会にも、職員にも思われる事業運営を目指していく、そのことが法人理念の実現に向かっていくことでもあると考えます。

以上を基本方針として、従来から継続の重点項目と合わせ、平成31年度の運営方針の骨子とします。

重点項目

① 利用者本位のサービス提供（新規）

従来から提供しているサービスがマンネリ化やニーズにそぐわないものになっていないか、職員の不足を理由として安易に職員本位のサービス提供になっていないか等、検証しながら利用者本位のサービス提供とする。

実施主体⇒各事業所

② 法人のガバナンスの強化（継続）

社会福祉法人としての運営において、公益性や公平性、そして透明性が保たれるために、各種規程の見直し、各事業の方針・予算の策定、ホームページや広報紙による情報の開示を推進する。

実施主体⇒法人本部

③ 職員の確保と人材の育成（継続）

職員の確保、人材の確保を目指して求人活動を活性化していく。最近はハローワークからの直接応募はほとんどなく、人材紹介会社を経由するケースが増加しているなど、求人求職の手法が従来とは変わってきており、それに対応していく。また、無資格者であっても資格取得に繋がる介護福祉士実務者研修通信科を継続するとともに、職員の定年年齢・給与のあり方・若者の働き方支援などを引き続き検討する。

実施主体⇒法人本部

④ 地域貢献（継続）

社会福祉法に義務付けられた公益的事業については、北海道社会福祉協議会が行う地域公益活動への参加を検討するとともに、町からの委託を受けている介護予防事業への上乗せ支援、町内会等地域活性化への支援事業の検討を行う。また、地域貢献を担う部門の立ち上げを検討しより効率の良い地域貢献の実施に向けた体制構築を図る。

実施主体⇒法人本部

⑤ 財務管理の強化（継続）

本年度は10月からの消費税増税に伴う介護報酬及び支援費が引き上げられる予定であり、並行して新しい処遇改善加算「介護員等特定処遇改善加算」制度が実施される。これは全く新しい新設の加算でありその具体的な取り扱いについては今後に解釈通知が公表される予定です。そのため現時点での収入額及び人件費増額分並びに増税に伴う経費算定等が不確定であり、平成31年度予算については暫定予算として編成しております。引き続き一層の増収と経費削減を図り安定的運営を目指す。

実施主体⇒法人本部

⑥ 施設整備・増改築基本構想の推進（継続）

特養部大規模修繕工事は2ヶ年（H30～31）事業として北海道の補助が決定しており、8月末を工期として実施する。増築のユニット型個室40床の整備については補助金交付申請協議を行っており決定後すみやかに実施する。

療護部については個室化や定員の見直しを含めて検討を継続する。

実施主体⇒特養部・療護部

⑦ 利用者の安定確保（継続）

入居系の事業所では利用希望の待機者減少は変わらず、新入居までの期間が長期化している。申し込みを待つだけではなく、新たな待機者の確保を図るための取り組みを継続する。

実施主体⇒更生部・療護部・特養部・寿幸園・そよ風の里・しおさい・いたどり

⑧ 利用者へ安心・安全なサービスの提供～防災対策を含む（継続）

介護事故や不適切なケアを防止し、ケアサービスの提供者として行って当然のこと、提供することが水準となっていることが、もれなく実施されることを目指す。また、防災対策では昨年の胆振東部地震を教訓として、非常時電源や暖房の確保について国や道の補助金等事業を利用しながら整備を検討する。

実施主体⇒法人及び各事業所

⑨ 法人50周年記念事業

記念式典および祝賀会の実施、記念DVDの作成を予定している。また町民還元・地域還元に結びつく事業を企画する。また、利用者にとって楽しみを得られる事業を検討し、利用者還元事業として実施する。

平成31年度更生部事業計画（概要）

運 営 方 針	<p>昨年度は下期に入り利用者の入院等が目立つようになり、通所においても利用率は横ばい状態だったが年明けにインフルエンザ感染の影響で営業を休止する等全体として減益となっている。また利用者の重度化・高齢化等による身体機能等に対するアセスメント不足が要因と考えられる利用者の骨折等の重大事故も発生している。今年度も利用者の健康管理に努めながら、適切なアセスメントによる安全対策強化を図りたい。また利用者の自立支援に向けよう利用者の要望（ニーズ）に即した実効的な支援を行う。今年度も利用者を安定的に確保しながら、日中活動支援の充実を図り、安定した事業運営を目指したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の安定確保のための広報活動・情報発信の強化 2. 適切なアセスメントによる自立支援に向けた個別支援の計画立案とサービス提供 3. 風通しの良い職場環境づくり 4. 職員のスキルアップ・人材育成のため更生部と合同での研修の充実並びに外部研修及び自主研修への積極的な参画 5. 安心のサービス提供のためのリスク管理 	
利 用 者 サ ー ビ ス 等	相 談 支 援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別支援計画の整備と充実 2. 利用者確保に向けた広報活動（HP・広報誌の充実と関係機関の訪問等）の取り組み 3. 他職種との連携強化 4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上
	介 護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者個々の適切なアセスメントによる個別支援の強化 2. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 3. 療護部との業務協力及び連携の強化
	健 康 管 理 (保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 早期対応による健康管理及び他職種（特に介護職員）との情報共有と連携 2. 感染症の予防及び迅速な対応と関係する研修の実施 3. 医療の重度利用者への対応 4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上
	機 能 訓 練	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体機能並びに生活能力向上を目指した個別支援計画の立案と実施 2. 訓練グループによる業務連携並びに業務改善
	給 食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要摂取量確保のため自助食器の導入及び残菜調査等による献立内容の検討 2. 咀嚼・嚥下状態にあった食事の工夫及び適温提供の推進 3. 他職種と連携しながら食事レク等を充実させる
	余 暇 支 援 (行事等)	<p>季節や利用者の個別支援に沿った行事やレク、クラブ活動を実施する。</p> <p>主な行事) ①秋の祭典 ②ショッピング ③夏祭り ④忘年会 ⑤カラオケ大会 ⑥野外レク ⑦もちつき ⑧虹鱒釣り ⑨その他</p> <p>クラブ活動) ①カラオケクラブ ②生花クラブ ③民謡クラブ</p>
	人 材 育 成 (職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人研修、合同研修、外部研修などの参加を促しスキルアップに繋げていく。 2. 意見の言い合える風通しの良い職場環境づくりを行う。 3. 個人面談などを通して、離職防止に努める。
	研 修 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人研修委員会及び療護との合同研修委員会による取り組みにより、研修内容の充実を図る。療護部と共同でケアガイドライン（全身障協）に取り組む。 2. 社会福祉研修所研修等の外部研修への参加や他施設間交流を行い、情報収集や業務改善、職員の知識・技術の向上に努める。
	施 設 管 理 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災対策を強化し、事故及び感染防止を図る。 2. 安心・安全なサービス提供を目標とし、虐待防止に取り組み利用者の権利擁護並びに職場環境の改善を推進する。
	そ の 他	

平成31年度療護部事業計画（概要）

運営方針	<p>昨年度は特に下期に入り利用者の退所が続き、また短期入所の利用も殆どなく減益となった。震災時だけでなく、11月より2月中旬まで厚真リハビリセンター利用者を受け入れ支援を行った。これまで設備の老朽化と多床室の影響で入所申込が殆どなかったが、年末より申し込みが続き待機者は増えている。昨年度は骨折や火災による死亡、金銭紛失による警察捜査等、インフルエンザの発症等、重大事故や感染症等が続いた。そのため今年度は安心・安全に過ごして頂くためフォーマル・インフォーマル両面においてリスクマネジメントを行い適切なサービスの提供に努める。また、今年度も老朽化した建物の補修や施設整備計画の具体化を図ると共に利用者個々のニーズを踏まえ、自立支援並びに健康管理を図りながら安定した事業運営を目指したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設整備計画並びに老朽化対策の推進 2. 利用者の安定確保のための広報活動・情報発信の強化 3. 適切なアセスメントによる自立支援に向けた個別支援の計画立案とサービス提供 4. 風通しの良い職場環境づくり 5. 職員のスキルアップ・人材育成のため更生部と合同での研修の充実並びに外部研修及び自主研修への積極的な参画 6. 防災・事故・防犯対策の強化による安全・安心なサービスの提供 												
利用者サービス	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">相談支援</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個別支援計画の整備と充実 2. 利用者確保に向けた広報活動（HP・広報誌の充実と関係機関の訪問等）の取り組み 3. 他職種との連携強化 4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 </td> </tr> <tr> <td>介護（生活支援）</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者個々の適切なアセスメントによる個別支援の強化 2. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 3. 更生部との業務協力及び連携の強化 </td> </tr> <tr> <td>健康管理（保健衛生）</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 早期対応による健康管理及び他職種（特に介護職員）との情報共有と連携 2. 感染症の予防及び迅速な対応と関係する研修の実施 3. 医療の重度利用者への対応 4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 </td> </tr> <tr> <td>機能訓練</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 個々の利用者の訓練計画を策定し、身体機能の維持・向上を図っていく。 </td> </tr> <tr> <td>給食（栄養管理）</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要摂取量確保のため自助食器の導入及び残菜調査等による献立内容の検討 2. 咀嚼・嚥下状態にあった食事の工夫及び適温提供の推進 3. 食事レク等での企画と参加及び他職種との連携 </td> </tr> <tr> <td>余暇支援（行事等）</td> <td> <p>季節や利用者の個別支援に沿った行事やレク、クラブ活動を実施する。</p> <p>主な行事） ①秋の祭典 ②ショッピング ③夏祭り ④忘年会 ⑤カラオケ大会 ⑥野外レク ⑦もちつき ⑧虹鱒釣り ⑨その他</p> <p>クラブ活動） ①カラオケクラブ ②生花クラブ ③民謡クラブ</p> </td> </tr> </table>	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別支援計画の整備と充実 2. 利用者確保に向けた広報活動（HP・広報誌の充実と関係機関の訪問等）の取り組み 3. 他職種との連携強化 4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 	介護（生活支援）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者個々の適切なアセスメントによる個別支援の強化 2. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 3. 更生部との業務協力及び連携の強化 	健康管理（保健衛生）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 早期対応による健康管理及び他職種（特に介護職員）との情報共有と連携 2. 感染症の予防及び迅速な対応と関係する研修の実施 3. 医療の重度利用者への対応 4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個々の利用者の訓練計画を策定し、身体機能の維持・向上を図っていく。 	給食（栄養管理）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要摂取量確保のため自助食器の導入及び残菜調査等による献立内容の検討 2. 咀嚼・嚥下状態にあった食事の工夫及び適温提供の推進 3. 食事レク等での企画と参加及び他職種との連携 	余暇支援（行事等）	<p>季節や利用者の個別支援に沿った行事やレク、クラブ活動を実施する。</p> <p>主な行事） ①秋の祭典 ②ショッピング ③夏祭り ④忘年会 ⑤カラオケ大会 ⑥野外レク ⑦もちつき ⑧虹鱒釣り ⑨その他</p> <p>クラブ活動） ①カラオケクラブ ②生花クラブ ③民謡クラブ</p>
相談支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別支援計画の整備と充実 2. 利用者確保に向けた広報活動（HP・広報誌の充実と関係機関の訪問等）の取り組み 3. 他職種との連携強化 4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 												
介護（生活支援）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者個々の適切なアセスメントによる個別支援の強化 2. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 3. 更生部との業務協力及び連携の強化 												
健康管理（保健衛生）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 早期対応による健康管理及び他職種（特に介護職員）との情報共有と連携 2. 感染症の予防及び迅速な対応と関係する研修の実施 3. 医療の重度利用者への対応 4. ケアガイドラインの取り組みによるサービスの質の向上 												
機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個々の利用者の訓練計画を策定し、身体機能の維持・向上を図っていく。 												
給食（栄養管理）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 必要摂取量確保のため自助食器の導入及び残菜調査等による献立内容の検討 2. 咀嚼・嚥下状態にあった食事の工夫及び適温提供の推進 3. 食事レク等での企画と参加及び他職種との連携 												
余暇支援（行事等）	<p>季節や利用者の個別支援に沿った行事やレク、クラブ活動を実施する。</p> <p>主な行事） ①秋の祭典 ②ショッピング ③夏祭り ④忘年会 ⑤カラオケ大会 ⑥野外レク ⑦もちつき ⑧虹鱒釣り ⑨その他</p> <p>クラブ活動） ①カラオケクラブ ②生花クラブ ③民謡クラブ</p>												
人材育成（職員確保）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人研修、合同研修、外部研修などの参加を促しスキルアップに繋げていく。 2. 意見の言い合える風通しの良い職場環境づくりを行う。 3. 個人面談などを通して、離職防止に努める。 												
研修計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人研修委員会及び更生との合同研修委員会による取り組みにより、研修内容の充実を図る。更生部と共同でケアガイドライン（全身障協）に取り組む。 2. 社会福祉研修所研修等の外部研修への参加や他施設間交流を行い、情報収集や業務改善、職員の知識・技術の向上に努める。 												
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> 2. 施設整備の具体的な計画の策定及び老朽化への対策を推進する。 3. 防災・防犯対策を強化し、事故及び感染防止を図る。 3. 安心・安全なサービス提供を目標とし、虐待防止に取り組み利用者の権利擁護並びに職場環境の改善を推進する。 												
その他													

平成31年度しおさい事業計画（概要）

運 営 方 針	<p>介護サービス包括型として人員配置は世話人4：1を継続している。夜間支援体制についても加算Ⅲ（緊急連絡体制による支援）で同様である。昨年度は入院者も殆どなく経営的には安定していた。防災対策として避難用スロープに手摺りを設置する等安全面に配慮してきた。利用者への対応としても個々のニーズにあったサービスを提供し、他事業所の地域資源の活用や利用者の思いに応えるよう努めてきた。今年度も「しおさい」の事業は、グループホームの本来の姿である「地域で暮らす」「利用者主体」の視点を推進すべく地域社会との関わりを重視しながら地域生活へ繋げていく。また夜間支援体制を強化する等、安心・安全な生活環境を整備するため防災・防犯への対策を勧める。また町内会活動への積極的参加や地域NPO法人の送迎サービスの利用・利用者が主体となった行事計画の作成（実行委員会体制の確立）を勧める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行政機関や法人内施設・他事業者との連携等による利用者の定員確保。 2. 利用者一人ひとりのニーズの実現に向けた個別支援と日中活動の充実。 3. 防災・事故・防犯対策等の安全・安心を考えた施設運営。 4. グループホームの目的に沿った運営の推進。 5. 職員研修によるスキルアップ。 6. 障がいサービス（更生部・通所・療護部）との協力関係の構築並びに連携強化。 	
利 用 者 サ ー ビ ス 等	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者一人ひとりに沿った個別支援計画の作成及び相談に対応する。 2. 広報「しおさい」の発行・法人ホームページ等を通し、利用者及び家族・地域住民、関係機関等へ情報発信を行う。 3. 日中活動事業所や地域の社会資源を活用した個別支援の推進。 4. 行政機関及び医療機関との連携強化。 5. 事故防止及び権利擁護の推進。
	生活支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 個別支援計画に基づく支援の実施（利用者の地域生活支援を含む）。 2. 職員間での利用者情報の共有化による支援内容の向上（スタッフ会議・ケース会議・担当会議の実施）を図る。 3. 利用者の健康状態の把握による疾病の早期発見と医療機関との連携。 4. 利用者の嗜好や意向に添った、また健康面に配慮した食事の提供。 5. 町内会等の地域との交流を積極的に図る。
	健康管理 (保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の日常的健康チェックや早期対応による健康管理の把握を行う。 2. インフルエンザ等の感染予防の実施及び迅速な対応に努める。
	庶務	<ol style="list-style-type: none"> 3. 介護報酬及び各種加算の手続きと適切な請求。 2. 経費節減及び利用者を確保し安定した経営を図る。
	給食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活習慣病や肥満等に配慮したバランスの良い食事の提供。 2. 食中毒等の予防に努めていく。
	余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者が望む余暇活動を充実させていく。（外食・外出支援等） 2. 近隣地域の行事の情報提供及び積極的な参加を促す。 3. 事業所内行事（夏祭り・忘年会等）が利用者主体となるよう支援する。
人 材 育 成 (職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人研修、外部研修などの参加を促しスキルアップに繋げていく。 2. 意見の言い合える風通しの良い職場環境づくりを行う。 3. 個人面談などを通して、離職防止に努める。 	
研 修 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. スキルアップが図れるよう法人研修及び障がい合同研修への参画並びに事業所内研修の充実を図る。 2. 社会福祉研修所研修等の外部研修への参加や他施設見学を行い、情報収集や業務改善、職員の知識・技術の向上に努める。 	
施 設 管 理 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の安全・安心を基本とした、事故防止対策並びに防災・防犯対策の強化を図る。 2. 虐待防止に取り組み利用者の権利擁護並びに職場環境の改善を推進する。 	
そ の 他		

平成31年度特養部事業計画（概要）

運営方針	<p>平成30年度は在籍数を概ね確保できたが、入院者増加に伴い稼働率が低下し年間を通して減収となった。引き続き新規利用者の確保に向け町内外の関係機関との連携を深め、利用者確保の安定化を図っていく。道補助金を活用した一部居室におけるプライバシー保護改修の実施により、居室環境の改善が図れた。法人理念を踏まえた「利用者本位のサービスの提供」の実現に向け、特養部職員が一丸となって利用者支援とチームケアの推進を図っていく。大規模修繕工事による利用者トイレやエレベーターの改修が実施されるが、利用者様の日々の生活に支障がないよう最大限に配慮し支援を継続していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「グループケア体制の維持と更なる推進」～ひだまり・杏・あじ彩の3グループスペース毎でのサービス提供体制の維持・確立とレク、行事等の各種立案・実施。 2. 「入所目標稼働率の達成」～入所受入れ優先の中、入院時の空床ベッド活用により稼働率維持・向上を図る。 3. アセスメントに基づいた利用者支援の継続と利用者ご本人の残存能力維持に向けた自立支援・離床時間の確保を図ります。個別ケアにおける適切な水分提供の実施と日々の排泄状況の確認を行っていく。 <ul style="list-style-type: none"> ◇ 安心・安全なケアの提供に向けたチームケアの推進。 ◇ 適切なアセスメントに基づいた、利用者ご本人の適切な目標水分摂量を摂取と排泄量確認・記録の実施。 ◇ 個別機能訓練の提供と両立した日常生活場面での自立・機能維持訓練の実施。 ◇ 移乗・移動動作、起立、見守りを含めた歩行器歩行訓練等の実施。 ◇ 職員の腰痛防止や痛みの再発等の防止に向けた「正しい基本姿勢」でのケアの提供。 4. 「不適切ケア」の防止と「身体拘束の廃止」に向けた取り組みの実施 適切なマットセンサーの設置やサイドレール等の活用に関して、「身体拘束廃止委員会」での検討のもと全職員が共通認識を有し、情報を共有して支援にあたり 5. 転倒・転落事故、誤薬等の重大事故施設内「事故防止・事故の再発防止」に向けた取り組みの継続。またインフルエンザやノロウイルス等の「感染症対策」に向けた取り組みの継続していく。 6. 「節電対策」と冗費節約の徹底により経営の安定化を図っていく。 	
利用者サービス等	相談支援	1. 利用者の人権を尊重し、安心して施設生活を送れるように利用者及び家族の様々な相談に対応していく。また利用者・家族に各種の情報の提供を行う。
	介護（生活支援）	1. 専門的なアセスメント及びケアプランに基づいた個別サービスの充実と記録整備の徹底。 2. 利用者情報の共有化を図り、ケアの質の向上とケア内容の統一化を目指す。 3. 利用者アセスメントを適切に実施し、介護事故の防止に努める。
	健康管理（保健衛生）	1. 日常的に利用者の健康をチェックし、早期発見に努め、治療が必要な場合は医療機関との連携を図る。 2. 感染症の予防に努め、介護職等に対する支援を行う。
	機能訓練	1. 可能な限り機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成し、ベットサイド訓練を含めて実施していく。「個別機能訓練計画」の作成。
	給食（栄養管理）	1. 利用者の嗜好を把握し、出来るだけ満足の得られる食事を提供する。 2. 可能な限り経口摂取の可能性を追求し適切な栄養マネジメントを行う。
	余暇支援（行事等）	1. グループユニット毎での企画・立案に基づくレク・行事の開催実施。 2. 利用者の主体性を尊重した行事や余暇活動への参加を募り、個別のニーズに基づく外出支援等にも取り組む。法人内「生花クラブ」への参加。
研修計画	人材育成（職員確保）	1. 引き続き「チームケアの推進」と「明るい職場環境」を目指し職員一人ひとりが専門性を向上し、必要な存在として雇用継続を図れるような雰囲気づくりを心掛ける。 2. 事業所予算を踏まえた「介護アシスタント」の再導入と育成体系の確立。
	研修計画	1. 道社会福祉研修所（道社協）主催の研修参加、老協協（道・日胆地区）等主催の外部研修への参加。内部研修【全体会議】の開催。法人内研修への参加。ユニットケア研修の開催・参加。
	施設管理等 その他	経営の安定化のために、適切な利用者の確保を目指す。 1. 利用者の安心・安全のために、適切な建物の保守点検を行う。 2. 職員の健康管理やメンタルケア等の実施により職場環境の改善を図る。 3. 改築及び既存施設の改修を含めた施設整備について検討を行う。

平成31年度特養部短期入所事業計画（概要）

運 営 方 針	<p>平成30年度は、従来の併設型(4床)に加えて、入院等による空所ベッドの活用により、昨年度と同様に稼働率維持に繋がった。多床室という安価な滞在費設定もあり、再利用を希望される利用者は依然として多く、今後も利用希望者の増加が予想される。近年の傾向ではロングショートを経ての入所ケースが目立っており、ご本人やご家族のご意向を踏まえ、担当ケアマネや関係事業所との連携を密にして調整を図っていく。</p> <p>今年度も、基本的な運営方針として、短期入所生活介護と指定介護予防生活介護利用者及び家族が安心して在宅生活が継続できるよう支援し、町内及び地域における「地域包括ケア」の一翼を担う短期入所事業所として、積極的な受入れを図っていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ご利用者及びご家族が安心して短期入所事業所を利用できるよう家庭的雰囲気の中で支援を行う。 2. 短期入所が在宅サービス（支援）の延長という職員の共通認識のもと、安心かつ安全なサービス提供を念頭に支援を行う。 3. 「利用者本位」「法令遵守」のサービス支援に向けた職員資質の向上に向けた研修の実施。 4. 短期入所目標稼働率の維持と目標達成を図る。 	
利 用 者 サ ー ビ ス 等	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の人権を尊重し、安心して短期生活を送れるよう各種相談に対応する。又、ご家族からの相談にも対応しながら、担当ケアマネとの連絡調整を密に行っていきます。 2. 適切なアセスメントに基づいた、利用者・家族のニーズに添った 3. 「短期入所ケアプラン」を作成する。 利用者の確保に努める（独居や家族不在等の長期的入所も含む）。
	介 護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 短期間の利用でも安心して満足の得られる介護を目指す。 2. ケアプランに基づくサービスの充実を図り、記録の整備も目指す。 3. 利用者情報の共有化を図り、ケアの質の向上・ケアの統一化を目指す。
	健康管理 (保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常的に利用者の健康をチェックし、早期発見に努め、治療が必要な場合は医療機関との連携を図る。 2. 感染症の予防に努め、介護職等に対する支援を行う。
	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> 1. 可能な限り機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成し、バットサイド訓練を含めて実施していく。「個別機能訓練計画」の作成
	給 食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の嗜好を把握し、出来るだけ満足の得られる食事の提供に心掛ける。 2. 食の大切さについて利用者・職員への周知を図り、適切な栄養マネジメントを行う。
	余暇活動 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用時には、特養部利用者と同様に法人全体で取り組む年間行事や特養部単独行事・余暇指導等に積極的に参加する。
	人材育成 (職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「チームケアの提供」、「明るい職場環境」を目指し職員一人ひとりが専門性を向上し、必要な存在として雇用継続を図れるよう職場環境の整備を図る。 2. 事業所予算を踏まえた「介護アシスタント」の再導入と育成体系の確立。
研修計画等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 道社会福祉研修所(道社協)主催の研修参加、老施協(道・日胆地区)等主催の外部研修への参加。内部研修【全体会議】の開催。法人内研修への参加。 	
施設管理等 その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 報酬改定を踏まえ、各種加算が適切に請求できるよう常に管理する。 2. 経営の安定化のために、利用者の確保を目指す。 3. 利用者の安心・安全のために、適切な建物の保守点検を行う。 4. 利用者サービスの向上のためにも、職員の健康管理やメンタルケア等の実施により職場環境の改善を図る。 	

平成31年度グループホームいたどり事業計画（概要）

運 営 方 針	<p>基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当事者、家族の人格を尊重し、個々の生活実現に向けた介護福祉サービスの提供 2. 地域の福祉拠点としての活動を強化し、地域の声を常に把握する。 3. 利用者の安定確保と入居利用者の健康管理 <p>平成31年度は、入居利用者の声とご家族の声に応じた、希望される生活実現に向けたサービス支援を行うように努め、認知症の専門員として地域の活動などに参加し、地域の声に応じた地域支援に繋がるように心掛け、地域の福祉拠点となるような機能を発揮する。入居利用者の高齢化に伴い様々な疾病の再発・悪化など今後予測されるが、毎日の健康管理に努め異常の早期発見と対応に努め入院することへの軽減に繋げていく。また、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所・町内の施設・医療機関などへアプローチを行い新規利用者確保と利用率の向上と収益の安定を図っていく。</p>												
利 用 者 サ ー ビ ス 等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">相談支援</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の人権を尊重し安心と安定した施設生活を送れるように利用者及び家族の様々な相談に応じる。 2. 利用者や家族の主体性、選択性を尊重できる様に必要な情報提供を行い自ら決定できる環境を提供する。 3. 他事業所や機関との連携を図り、必要なサービスが受けられるよう調整する。 4. 早期退院と受け入れ体制整備、入居支援等、医療機関との連携強化。 5. 個々の力に注目したアプローチと、適切なケアマネジメントの推進。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">介 護 (生活支援)</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者個々のアセスメントを十分行う。アセスメントで把握したその人個人を尊重した利用者主体のケアを提供する。 2. 多職種協働でケアプランを作成し根拠に基づいたケアの提供を行う。それには毎日の記録などこまめに行い、問題解決や希望に沿った支援に努める。 3. 業務見直しを都度行い、効率的で効果的な業務が遂行できる様に努める。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">健康管理 (保健衛生)</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の健康チェックとあわせて、精神症状や行動障がいなどもあわせて観察し、異常の早期発見に努め必要な医療が受けられるようにする。医療機関との連携を図り、退院後も安心できる生活を送れるようにする。 2. 看護師による定期的な健康管理の実施、ケアスタッフへの支援を行う。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">機能訓練</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活活動を通じた身体機能の維持と、自信を回復し精神面の活性化を図る。 2. 生活の中に体操をできる時間をとりいれ施行する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">給 食 (栄養管理)</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の嗜好を把握し、満足と楽しみのある食事を提供する。 2. 利用者・職員それぞれの力を発揮して協働で調理を行う。 3. 栄養スクリーニングを行い、栄養状態の把握と必要な支援を提供する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">余暇支援 (行事等)</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 趣味など馴染みの活動の継続や、季節を感じられるような様々な行事提供を行う。 2. 小旅行にて個々の希望に応じた外出を企画、家族との協働や交流機会、季節のうつろいや暮らしを感じられる行事を、利用者と共に検討・実施していく。 </td> </tr> </table>	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の人権を尊重し安心と安定した施設生活を送れるように利用者及び家族の様々な相談に応じる。 2. 利用者や家族の主体性、選択性を尊重できる様に必要な情報提供を行い自ら決定できる環境を提供する。 3. 他事業所や機関との連携を図り、必要なサービスが受けられるよう調整する。 4. 早期退院と受け入れ体制整備、入居支援等、医療機関との連携強化。 5. 個々の力に注目したアプローチと、適切なケアマネジメントの推進。 	介 護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者個々のアセスメントを十分行う。アセスメントで把握したその人個人を尊重した利用者主体のケアを提供する。 2. 多職種協働でケアプランを作成し根拠に基づいたケアの提供を行う。それには毎日の記録などこまめに行い、問題解決や希望に沿った支援に努める。 3. 業務見直しを都度行い、効率的で効果的な業務が遂行できる様に努める。 	健康管理 (保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の健康チェックとあわせて、精神症状や行動障がいなどもあわせて観察し、異常の早期発見に努め必要な医療が受けられるようにする。医療機関との連携を図り、退院後も安心できる生活を送れるようにする。 2. 看護師による定期的な健康管理の実施、ケアスタッフへの支援を行う。 	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活活動を通じた身体機能の維持と、自信を回復し精神面の活性化を図る。 2. 生活の中に体操をできる時間をとりいれ施行する。 	給 食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の嗜好を把握し、満足と楽しみのある食事を提供する。 2. 利用者・職員それぞれの力を発揮して協働で調理を行う。 3. 栄養スクリーニングを行い、栄養状態の把握と必要な支援を提供する。 	余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 趣味など馴染みの活動の継続や、季節を感じられるような様々な行事提供を行う。 2. 小旅行にて個々の希望に応じた外出を企画、家族との協働や交流機会、季節のうつろいや暮らしを感じられる行事を、利用者と共に検討・実施していく。
相談支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の人権を尊重し安心と安定した施設生活を送れるように利用者及び家族の様々な相談に応じる。 2. 利用者や家族の主体性、選択性を尊重できる様に必要な情報提供を行い自ら決定できる環境を提供する。 3. 他事業所や機関との連携を図り、必要なサービスが受けられるよう調整する。 4. 早期退院と受け入れ体制整備、入居支援等、医療機関との連携強化。 5. 個々の力に注目したアプローチと、適切なケアマネジメントの推進。 												
介 護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者個々のアセスメントを十分行う。アセスメントで把握したその人個人を尊重した利用者主体のケアを提供する。 2. 多職種協働でケアプランを作成し根拠に基づいたケアの提供を行う。それには毎日の記録などこまめに行い、問題解決や希望に沿った支援に努める。 3. 業務見直しを都度行い、効率的で効果的な業務が遂行できる様に努める。 												
健康管理 (保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の健康チェックとあわせて、精神症状や行動障がいなどもあわせて観察し、異常の早期発見に努め必要な医療が受けられるようにする。医療機関との連携を図り、退院後も安心できる生活を送れるようにする。 2. 看護師による定期的な健康管理の実施、ケアスタッフへの支援を行う。 												
機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常生活活動を通じた身体機能の維持と、自信を回復し精神面の活性化を図る。 2. 生活の中に体操をできる時間をとりいれ施行する。 												
給 食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の嗜好を把握し、満足と楽しみのある食事を提供する。 2. 利用者・職員それぞれの力を発揮して協働で調理を行う。 3. 栄養スクリーニングを行い、栄養状態の把握と必要な支援を提供する。 												
余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 趣味など馴染みの活動の継続や、季節を感じられるような様々な行事提供を行う。 2. 小旅行にて個々の希望に応じた外出を企画、家族との協働や交流機会、季節のうつろいや暮らしを感じられる行事を、利用者と共に検討・実施していく。 												
人 材 育 成 (職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> 1. それぞれのキャリア形成が促進できるよう、特性やビジョンにあわせた担当配置、経験をサポート、機会を重ねていく。 2. 自身でストレス要因や構造を理解し、セルフケアにてストレスをコントロールできるようにする。 												
研 修 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 制度理解、尊厳と権利擁護、認知症の理解などの専門的知識を習得し、場面や状況に応じて根拠に基づいた介護過程展開と技術を駆使できるようトレーニングを行う。また、法人内事業所やグループホーム連絡会と協働で研修を実施する。あわせて、スキルアップのための内・外部研修の受講を促進する。 												
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防火設備や機器の保守点検を行い、火災・地震などの避難訓練や研修の実施、風水害など盛り込んだ防災計画への改定により、安全と安心を確保する。 2. 住みやすさ使いやすさなどの環境整備や、建物の保守点検を行う。 3. 職員の勤務体制や休暇取得などより改善を図る。 												
そ の 他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 運営推進会議を通じて、地域に根差し開かれた運営を行う。 												

平成31年度寿幸園事業計画【短期含】（概要）

運営方針	<p>H30年度は、入院者ベッドをショートステイ利用者への提供することで、入院による空床が生じないように努め、ショートステイから入居に繋がったことから、入居に関しては比較的円滑に進めることが出来た。又、H30年度後半には時期的に介護職員の退職や病欠が重なり、各ユニットの勤務シフトに苦慮したが、利用者への影響は最小限にとどめることが出来た。その他、設備・備品の経年劣化や自然災害への更なる対応が必要となった。</p> <p>以上の点を踏まえ、H31年度は次の5点を重点目標とする。</p> <p>①ユニット運営体制の見直し 病欠者等が複数出ても、サービス水準を維持できる体制の構築。</p> <p>②個別支援の推進 寿幸園建物環境を生かした個別支援内容の検討、及び各計画書の整備。</p> <p>③利用者の安定的な確保 年間稼働率（入居・ショートステイ）は94%以上を目標。</p> <p>④利用者への安全・安心なサービスの提供（防災対策を含む） 事故検証結果共有の徹底、及び自然災害必要備品等の整備。</p> <p>⑤施設の管理 適正管理の徹底と白老町との連携。</p>												
利用者サービス等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">相談支援</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用者・家族の相談に応じ、施設内外の関係部署等との調整を図る。 ② 町内外の関係機関の相談等を通じ利用者の安定的確保を図る。 ③ 施設及び短期入所サービス計画の策定。 </td> </tr> <tr> <td>介護（生活支援）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ① 利用者情報及び対応方法の共有化を図る。 ② 重度要介護者及び認知症者の個別的支援方法の検討・実施。 ③ 各種記録様式の検討・作成。 </td> </tr> <tr> <td>健康管理（保健衛生）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ① 日常的健康管理・嘱託医等への報告及び指示内容の実施。 ② 白老町立病院及び各医療機関との連絡調整を図る。 ③ 感染症に対する予防及び対応方法の検討・実施。 </td> </tr> <tr> <td>機能訓練</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ① 個別訓練計画の作成により可能な限り入居者の機能低下を防ぐ。 ② 生活場面での機能訓練の支援。 ③ 短期入所利用者への機能訓練実施を通じ、在宅での生活機能維持を図る。 </td> </tr> <tr> <td>給食（栄養管理）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ① 個々の嗜好や食事機能状態の把握を通じ食べる楽しみを提供する。 ② 栄養マネジメントを通じ入居者の健康管理を支援する。 ③ 健康管理に資する献立内容の検討 ④ 行事食等を通じ食べる面から生活の潤いを提供する。 </td> </tr> <tr> <td>余暇支援（行事等）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ① 寿幸園レクリエーション委員会による全体行事の企画・実施。 ② 各ブロック単位でのレクリエーションの企画・実施。 ③ 外部団体等の訪問による行事の企画・実施。 </td> </tr> </table>	相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者・家族の相談に応じ、施設内外の関係部署等との調整を図る。 ② 町内外の関係機関の相談等を通じ利用者の安定的確保を図る。 ③ 施設及び短期入所サービス計画の策定。 	介護（生活支援）	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者情報及び対応方法の共有化を図る。 ② 重度要介護者及び認知症者の個別的支援方法の検討・実施。 ③ 各種記録様式の検討・作成。 	健康管理（保健衛生）	<ul style="list-style-type: none"> ① 日常的健康管理・嘱託医等への報告及び指示内容の実施。 ② 白老町立病院及び各医療機関との連絡調整を図る。 ③ 感染症に対する予防及び対応方法の検討・実施。 	機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> ① 個別訓練計画の作成により可能な限り入居者の機能低下を防ぐ。 ② 生活場面での機能訓練の支援。 ③ 短期入所利用者への機能訓練実施を通じ、在宅での生活機能維持を図る。 	給食（栄養管理）	<ul style="list-style-type: none"> ① 個々の嗜好や食事機能状態の把握を通じ食べる楽しみを提供する。 ② 栄養マネジメントを通じ入居者の健康管理を支援する。 ③ 健康管理に資する献立内容の検討 ④ 行事食等を通じ食べる面から生活の潤いを提供する。 	余暇支援（行事等）	<ul style="list-style-type: none"> ① 寿幸園レクリエーション委員会による全体行事の企画・実施。 ② 各ブロック単位でのレクリエーションの企画・実施。 ③ 外部団体等の訪問による行事の企画・実施。
相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者・家族の相談に応じ、施設内外の関係部署等との調整を図る。 ② 町内外の関係機関の相談等を通じ利用者の安定的確保を図る。 ③ 施設及び短期入所サービス計画の策定。 												
介護（生活支援）	<ul style="list-style-type: none"> ① 利用者情報及び対応方法の共有化を図る。 ② 重度要介護者及び認知症者の個別的支援方法の検討・実施。 ③ 各種記録様式の検討・作成。 												
健康管理（保健衛生）	<ul style="list-style-type: none"> ① 日常的健康管理・嘱託医等への報告及び指示内容の実施。 ② 白老町立病院及び各医療機関との連絡調整を図る。 ③ 感染症に対する予防及び対応方法の検討・実施。 												
機能訓練	<ul style="list-style-type: none"> ① 個別訓練計画の作成により可能な限り入居者の機能低下を防ぐ。 ② 生活場面での機能訓練の支援。 ③ 短期入所利用者への機能訓練実施を通じ、在宅での生活機能維持を図る。 												
給食（栄養管理）	<ul style="list-style-type: none"> ① 個々の嗜好や食事機能状態の把握を通じ食べる楽しみを提供する。 ② 栄養マネジメントを通じ入居者の健康管理を支援する。 ③ 健康管理に資する献立内容の検討 ④ 行事食等を通じ食べる面から生活の潤いを提供する。 												
余暇支援（行事等）	<ul style="list-style-type: none"> ① 寿幸園レクリエーション委員会による全体行事の企画・実施。 ② 各ブロック単位でのレクリエーションの企画・実施。 ③ 外部団体等の訪問による行事の企画・実施。 												
人材育成（職員確保）	<ul style="list-style-type: none"> ① チューターによる新人介護職員の育成及びチューターに対する支援の実施。 ② 準職員に対する介護職員実務者研修受講促進を図る。 												
研修計画	<ul style="list-style-type: none"> ① 寿幸園内研修委員会企画による研修会の開催（年10～12回程度）。 ② 天寿会研修委員会企画の研修会への参加。 ③ 北海道社協・老協協等関係団体主催研修への参加及び他施設見学の実施。 												
施設管理等	<ul style="list-style-type: none"> ① 寿幸園内敷地の清掃・整備及び建物外観を保全に努める。 ② 設備・備品の経年劣化に対する適正管理に努める。 ③ 危険物・衛生設備の管理徹底を図る。 												
その他	<ul style="list-style-type: none"> ① 日常的な節電・節水を通じ経費削減を図る。 												

平成31年度老人デイサービス事業計画（概要）

運営方針	<p>平成30年度は、介護制度改正・介護報酬改定があり、サービス提供時間を6時間以上7時間未満に変更したが、利用者の減少はなく、要支援者の増加が見られた。総合事業についても従来のプログラムを踏襲しているが、特段のクレームもなく経過している。介護報酬改定の影響も大きな変化は認められていない。今年度は引き続き、総合事業のプログラム検討・混合サービスの可能性についても検討を行う。30年度に取り組んできた、心身機能の維持に係るアウトカム評価による日常生活動作の維持向上による、ADL維持等加算の申請を行い、更にADL維持機能を目指す。利用者の確保については、町内・登別市内のケアマネの事業所への定期訪問を実施し、当事業所のPRを積極的に実施する。人員配置については、現員体制を維持するが、状況に応じてパートの増員も検討する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 総合事業や混合事業の可能性について、利用者ニーズを把握しながら検討する。 2. 自立支援を目指したサービスの提供。 3. 利用者の確保。（関係機関への定期訪問・空き状況の情報提供） 4. カンファレンスの適切な実施。 5. 送迎中や利用中の事故防止。 	
利用者サービス等	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の人権を尊重し、安心して在宅生活をおくれるように様々な相談に対応する。又、家族の相談にも対応する。 2. 利用者・家族に対して、提供するサービス内容をわかり易く説明し、デイサービス利用の意義を理解して頂けるよう努める。 3. 利用者の確保に務める。（ケアマネ事業所定期訪問・空所情報提供）
	介護（生活支援）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の自立支援の原則に立ち返り、在宅生活の継続支援を目指し、自分で出来ることを増やせるような支援を行っていく。 2. ケアプランに基づくサービスの充実を図り、記録の整備を行う。 3. 利用者情報の共有化を図り、ケアの質の向上を目指す。 4. 業務の見直しによる効率化を目指す。
	健康管理（保健衛生）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日常的に利用者の健康をチェックし、早期発見に努め、治療が必要な場合は医療機関との連携を図る。 2. 感染症の予防に努め、介護職等に対する支援を行う。
	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> 1. 可能な限り機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成し、実施していく。 2. 総合事業対象者の運動器機能訓練を適切に実施する。
	給食（栄養管理）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の嗜好を把握し、出来るだけ満足の得られる食事の提供に心掛ける。 2. 食の大事さを利用者・職員に理解していただき、適切なマネジメントを行う。
	余暇支援（行事等）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者が楽しめる行事や余暇活動を充実する。 2. 法人全体で取り組む年間行事にも参加する。
	人材育成（職員確保）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経営の安定化を図るために、適正な人員管理を行う。 2. 職員の資質の向上を目指して、職場内研修は二月に一度、課題を設定して実施する。資格取得の支援を継続する。 3. 利用者の増員等に配慮しながら、職員の確保について対応する。
	研修計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 施設内研修計画を立案し、デイ課題への取り組みや資質の向上を目指す。 2. 社会福祉研修所研修等職種毎の外部研修に参加し、知識・技術の習得を図る。
	施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各種加算が適切に請求できるよう管理する。特に利用定員の管理に注意する。 2. 経営の安定化のために、適切な利用者の確保を目指す。 3. 送迎中の車両事故や利用中の転倒等の事故防止に努める。 4. 利用者サービスの向上のためにも、職員の健康管理・心のケアを実施できるよう職場環境の改善に努める。
	その他	<p>事業所の目標として、丁寧語を使用し顧客意識を持ったサービスを提供する。</p>

平成31年度居宅・在介事業計画（概要）

運営方針	<p>平成30年度は、新規にケアマネを採用したが、中途退職となり、利用者の確保が出来なかったため平成年度に続き大幅な減収となった。平成31年度は、法人内の移動で新任ケアマネを確保するが、居宅でのケアマネ未経験であり持ちケースの増加は見込めない状況である。従って、30年度は新任ケアマネの育成を中心に、可能な範囲でケース数を増加しながら適切なケアプランを実施していく。</p> <p>白老町の地域包括的ケアサービスの拠点としての役割が求められており、天寿会の地域支援事業の中核として機能できるように体制の構築を目指していく。</p> <p>今年度も、厳しい状況下ではあるが、居宅・在介事業所の存在が他の事業への波及効果があることを十分理解し、引き続き利用者・家族のニーズを尊重したケアプラン作成に努力していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者に信頼されるケアプランを作成し、適切に実施していく。 2. 関係機関等の連携と地域住民に信頼される関係を築いていく。 3. 現有ケースを下回らないケースの確保に努める。 	
利用者	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の人権を尊重し、安心できる施設生活をおくれるように様々な相談に対応する。又、家族の相談にも対応する。 2. 制度の主旨をしっかりと理解し、利用者・家族に信頼されるプランの作成を目指す。 3. 介護保険制度、他の福祉諸制度の内容を正しく理解できるよう、利用者・家族に情報の提供を行い、いつでも相談できる体制を確立する。 4. 在宅介護し運センターの役割として受託している75歳時訪問を適切に実施していく。地域の相談センター機能の充実を目指す。
サービス等	介護 (生活支援)	
	健康管理 (保健衛生)	
	機能訓練	
	給食 (栄養管理)	
	余暇支援 (行事等)	
	人材育成 (職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ケアマネ業務の実施には、資質の高いケアマネが求められており、積極的に外部研修等への参加を図り資質の向上を図る。 2. 新任ケアマネの育成を図るためにも、事業所内のケース検討等を行っていく
	研修計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険の情報収集、地域のケアマネ等との連携、ケアマネ資質の向上を目指した研修を実施する。 2. 社会福祉研修所研修等職種毎の外部研修に参加し、知識・技術の習得に心掛ける。
	施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護報酬を適切に理解し管理運営していく。 2. 経営の安定化のために、適切な利用者の確保を目指す。

平成31年度そよ風の里事業計画（概要）

運 営 方 針	<p>基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新たな利用者の確保及び定員の確保 2. 健全な財政運営 3. 介護保険施設としての法令遵守 4. ユニットケアの推進 5. 職員の確保及び資質向上 <p>31年度も老健本来の機能である医療的ケアとリハビリテーションを提供しつつ、療養型の特色である医療処置を必要とする重度要介護者及び認知症による在宅生活困難者を対象者として受け入れていきながら、ターミナルケアについてもより利用者本人・家族の希望に沿えるよう対応する。また、地域貢献事業に積極的に参画しながら地域包括ケアシステムの一翼を担う施設を目指す。</p>												
利 用 者 サ ー ビ ス 等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">相談支援</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の人権を尊重し、安心した施設生活を送れるように利用者及び家族の様々な相談に応じる。 2. 利用申込みに関する相談や介護保険について町内外の住民からの問い合わせに応じる。 3. 家庭復帰や特養利用への相談支援を行う。 4. 近隣医療機関、居宅介護支援事業所等に対して施設情報を定期的に提供する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">医療 健康管理</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の日常的な健康管理とともに疾病の早期発見・早期治療を行う。 2. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保を図る。 3. ジェネリック医薬品の活用等、経費削減を目指す。 4. 感染症の予防に努め各職種に対する支援を行う。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">介 護 看 護 (生活支援)</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. ユニットケアの推進とケアプランに基づくサービスの充実を図る。 2. 関係職種と利用者情報の共有化を図るとともに身体拘束廃止に取り組む 3. 重度要介護者及び認知症とその周辺症状に対応できる体制の整備を図る。 4. 医療介護事故の防止に取り組み、重大事故につながらないよう努める。 5. ターミナルケア（看取り介護）の整備を進める。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">機 能 訓 練</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 身体機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成・実施する。 2. リハビリテーション及び余暇活動へのアプローチを行う。 3. 地域の介護予防事業に協力する。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">給 食 (栄養管理)</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者個々の嗜好を把握し、満足を得てもらえる食事の提供を心掛ける。 2. 利用者の栄養状態にあったマネジメントを行う。 3. 咀嚼や嚥下状態が低下した利用者でも経口摂取ができるよう工夫を行う。 4. 食事レクの企画実施。 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">余 暇 支 援 (行事等)</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・法人共通行事、クラブ活動のほか、ユニットごと、フロアごとに利用者のニーズに合わせた行事やレクを企画実施する。 </td> </tr> </table>	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の人権を尊重し、安心した施設生活を送れるように利用者及び家族の様々な相談に応じる。 2. 利用申込みに関する相談や介護保険について町内外の住民からの問い合わせに応じる。 3. 家庭復帰や特養利用への相談支援を行う。 4. 近隣医療機関、居宅介護支援事業所等に対して施設情報を定期的に提供する。 	医療 健康管理	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の日常的な健康管理とともに疾病の早期発見・早期治療を行う。 2. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保を図る。 3. ジェネリック医薬品の活用等、経費削減を目指す。 4. 感染症の予防に努め各職種に対する支援を行う。 	介 護 看 護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユニットケアの推進とケアプランに基づくサービスの充実を図る。 2. 関係職種と利用者情報の共有化を図るとともに身体拘束廃止に取り組む 3. 重度要介護者及び認知症とその周辺症状に対応できる体制の整備を図る。 4. 医療介護事故の防止に取り組み、重大事故につながらないよう努める。 5. ターミナルケア（看取り介護）の整備を進める。 	機 能 訓 練	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成・実施する。 2. リハビリテーション及び余暇活動へのアプローチを行う。 3. 地域の介護予防事業に協力する。 	給 食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者個々の嗜好を把握し、満足を得てもらえる食事の提供を心掛ける。 2. 利用者の栄養状態にあったマネジメントを行う。 3. 咀嚼や嚥下状態が低下した利用者でも経口摂取ができるよう工夫を行う。 4. 食事レクの企画実施。 	余 暇 支 援 (行事等)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人共通行事、クラブ活動のほか、ユニットごと、フロアごとに利用者のニーズに合わせた行事やレクを企画実施する。
相談支援	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の人権を尊重し、安心した施設生活を送れるように利用者及び家族の様々な相談に応じる。 2. 利用申込みに関する相談や介護保険について町内外の住民からの問い合わせに応じる。 3. 家庭復帰や特養利用への相談支援を行う。 4. 近隣医療機関、居宅介護支援事業所等に対して施設情報を定期的に提供する。 												
医療 健康管理	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の日常的な健康管理とともに疾病の早期発見・早期治療を行う。 2. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保を図る。 3. ジェネリック医薬品の活用等、経費削減を目指す。 4. 感染症の予防に努め各職種に対する支援を行う。 												
介 護 看 護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> 1. ユニットケアの推進とケアプランに基づくサービスの充実を図る。 2. 関係職種と利用者情報の共有化を図るとともに身体拘束廃止に取り組む 3. 重度要介護者及び認知症とその周辺症状に対応できる体制の整備を図る。 4. 医療介護事故の防止に取り組み、重大事故につながらないよう努める。 5. ターミナルケア（看取り介護）の整備を進める。 												
機 能 訓 練	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成・実施する。 2. リハビリテーション及び余暇活動へのアプローチを行う。 3. 地域の介護予防事業に協力する。 												
給 食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者個々の嗜好を把握し、満足を得てもらえる食事の提供を心掛ける。 2. 利用者の栄養状態にあったマネジメントを行う。 3. 咀嚼や嚥下状態が低下した利用者でも経口摂取ができるよう工夫を行う。 4. 食事レクの企画実施。 												
余 暇 支 援 (行事等)	<ul style="list-style-type: none"> ・法人共通行事、クラブ活動のほか、ユニットごと、フロアごとに利用者のニーズに合わせた行事やレクを企画実施する。 												
人 材 育 成 (職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護福祉士資格取得に向けて実務者研修通信課程の受講支援を行う。 2. 新入職員に対して担当指導職員（チューター）を付け、早期離職を防止する。 3. 天寿会の各施設職員との交流を図り資質の向上を図る。 												
研 修 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉研修所等職種毎の外部研修に参加し、知識技術を習得する。 2. 法人内研修委員会実施の研修へ参加する。 3. 毎月の感染防止委員会において、感染症とその予防について学習する。同じく事故防止委員会及び身体拘束防止委員会においては、不適切ケア・虐待の防止について学習する。 												
施 設 管 理 等	<ol style="list-style-type: none"> 1. 経費の節減を心掛けた経営の安定化を図る。 2. ケアに必要な備品整備を進める。 3. 看護・介護職員の適正配置を進める。 												
そ の 他	<p>町からの委託事業である「脳の健康教室」「介護予防サロン」「認知症カフェ」の実施に協力する。</p>												

平成31年度診療所事業計画（概要）

運営方針	<p>北海道リハビリテーションセンター診療所は開設後7年が経過し、8年目を迎える。平成30年度に診療報酬改定が行われたものの、慢性期医療を中心とする当診療所においては影響が少なかった。当診療所は限られた医療資源の中で運営をしているところであるが、法人の理念である“天寿会は、利用者と共に歩み、笑顔と安心を提供します。”を掲げており、地域住民や利用者の健康管理に、安心安全な医療の提供をしていきたい。</p> <p>基本方針として、以下の項目を掲げ事業を実施していきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療法、医師法等を順守し、違反のないよう医療を提供する。 2. 地域住民や職員への医療を提供し、自立した生活を営むことが出来るように支援する。 3. 施設入所利用者への健康管理を行う。 									
医療サービス等	地域住民	<ol style="list-style-type: none"> 1. 契約による「特定健診」、「後期高齢者健康診査」、「特定健診情報提供」等の診療を提供する。 2. 在宅療養指導を行う。 3. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保を図る。 4. 予防ワクチンの提供を行うー肺炎球菌・インフルエンザ 5. 白老町学校健診へ協力するー虎杖浜・竹浦小学校 6. 平成30年度白老町中学生のピロリ菌検査・除菌支援事業へ協力する。 								
	施設利用者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 予防接種を提供する。 2. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保を図る。 3. 健康診断を提供する。 4. 診療を提供する。 								
	職員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康診断を提供する。 2. 診療を提供する。 3. インフルエンザ予防接種を提供する。 4. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保を図る。 								
医療機器	検査・治療器	<p>必要最小限の機器で対応し、設置機器以外については委託業者へ依頼する。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 心電図装置</td> <td style="width: 50%;">5. 超音波画像診断装置</td> </tr> <tr> <td>2. 尿検査器</td> <td>6. 鍼治療器</td> </tr> <tr> <td>3. 生化学分析装置</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4. レントゲン撮影装置（回診用X線装置を含む）</td> <td></td> </tr> </table>	1. 心電図装置	5. 超音波画像診断装置	2. 尿検査器	6. 鍼治療器	3. 生化学分析装置		4. レントゲン撮影装置（回診用X線装置を含む）	
1. 心電図装置	5. 超音波画像診断装置									
2. 尿検査器	6. 鍼治療器									
3. 生化学分析装置										
4. レントゲン撮影装置（回診用X線装置を含む）										
人員	人員配置	<p>医療法、医師法等を順守した配置とする。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 医師 3名</td> <td style="width: 50%;">5. 薬局事務員 1名</td> </tr> <tr> <td>2. 薬剤師 1名</td> <td>6. 臨床検査技師（パート） 1名</td> </tr> <tr> <td>3. 看護師 1名</td> <td>7. 医療事務員 2名（1名パート）</td> </tr> <tr> <td>4. レントゲン技師（パート） 1名</td> <td></td> </tr> </table>	1. 医師 3名	5. 薬局事務員 1名	2. 薬剤師 1名	6. 臨床検査技師（パート） 1名	3. 看護師 1名	7. 医療事務員 2名（1名パート）	4. レントゲン技師（パート） 1名	
1. 医師 3名	5. 薬局事務員 1名									
2. 薬剤師 1名	6. 臨床検査技師（パート） 1名									
3. 看護師 1名	7. 医療事務員 2名（1名パート）									
4. レントゲン技師（パート） 1名										
	人材育成 （職員確保）	(株)ニチイ学館からの派遣打ち切りとなった医療事務員は、パート職員として確保し継続雇用している。								
	施設管理等	建物・設備において老朽化しており、故障や不具合が発生した都度対応を取っていく。								
	その他	回診用X線撮影装置が更新され、利用者の健康鑑別診断に役立っている。								

平成31年度介護職員実務者研修通信科事業計画（概要）

運営方針	<p>基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 新カリキュラム施行に向けた体制整備 2, 広く地域に向けて養成校としての使命を果たす。 3, 受講生の確保 <p style="margin-left: 20px;">介護福祉士実務者としての、ケアに対する専門知識及び技術の修得を可能とし、介護福祉に携わる者の育成を通じて、法人職員はもとより地域における福祉の発展に寄与する。養成施設としての使命を果たすためにも、全3回開講コースにおいて一定程度の受講生を確保できるよう体制を整備していく。</p>	
利用者サービス等	教育体制	<ol style="list-style-type: none"> 1, 2020年新カリキュラム導入により、学習計画の変更など必要な体制を整備し、届出を行う。 2, 新カリキュラムにおける変更点について、教員間で情報共有を図り、効果的な教育が提供できる体制とする。 3, 理論と根拠をベースに、ケア方法を組み立て実践できる力を養えるよう教育内容を見直していく。 4, 教育内容の見直しにあたっては評価を行い、課題を抽出して具体的に解決を図っていく。 5, 受講者アンケートを実施し、その結果を教育体制に反映させていく。 6, それぞれの講座における国家試験合格率について、介護福祉士国家試験平均合格割合を上回ることを目標に、受講生のサポートを行う。
	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> 1, 学習に効果的に取り組めるよう、質問票の他希望に応じて通信教育を修了できるよう相談支援を行う。 2, 就労しながらの学びのため、日々の業務への活かし方や卒業後の就職など、キャリアについて相談があった場合には、希望に応じてキャリアコンサルタントによるキャリアコンサルティングを行い、受講生が当校での学びを活かし、望むキャリア形成が図れるようサポートする。
	受講料	<ol style="list-style-type: none"> 1, 広く地域住民に利用してもらえるよう、他養成校の状況などをみながら、料金設定を改定する。 2, 教育訓練給付金（特定含む）、専門実践訓練給付金の指定講座となることで、費用負担の軽減が図れるようにする。
	広報	<ol style="list-style-type: none"> 1, ホームページへの掲載のほか、ポスターの掲示、パンフレットの配布など、町内の福祉施設など事業所に広く広報する。
人材育成	<ol style="list-style-type: none"> 1, 専任教員において自己研鑽のための研修受講についてサポートする。 	
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> 1, 教育機器備品目録と保管物品の確認を定期的に行い、備品管理を徹底するほか、必要に応じて台帳の変更を行う。 2, 実習で使用する消耗品の管理・発注を適切に行うと共に、管理を適切に行う。 3, 教室・実習室の使用は目的に沿って適切に使用する。実習後は清掃を行い衛生管理に努める。 	
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1, 入校を希望、または研修を修了した者で、介護福祉職としてのキャリア形成を希望する者は、当法人各事業所の状況にあわせて採用しサポートしていく。 	